

APAMAN

FY2019 FINANCIAL RESULTS

2019年9月期 決算補足資料

2019年 11月7日 (木)

A P A M A N 株式会社

JASDAQ : 8889

- ◆ Sharing economy事業 黒字化達成
- ◆ 家賃保証事業会社の普通株式の全部を譲渡（連結子会社除外）
- ◆ 民泊運営会社の普通株式の一部譲渡（持分法適用関連会社除外）
- ◆ 札幌事故の影響（特別利益3.1億円／特別損失11.5億円）
- ◆ 持分法取込損失 5.7億円



Sharing economy

黒字化達成

Co-working“fabbit”の会員数が大幅に増加



Platform

増収・減益

減益は事故の影響



Cloud technology

増収・増益

クラウド利用やITサービスが増加

1. 先行投資（Sharing economy）の状況

1. Co-working



fabbit Global Gateway "ACROS Fukuoka"

Co-working

2018年9月末

41 カ所

↓ + 4 カ所

2019年9月末

45 カ所

※上記数値は契約ベース/拠点は、直営・FC・出資会社含む

1. Co-working

会員数の大幅増加



会員数

6,633人



拠点数

45カ所



マッチング件数

102,274件



イベント開催(実績)

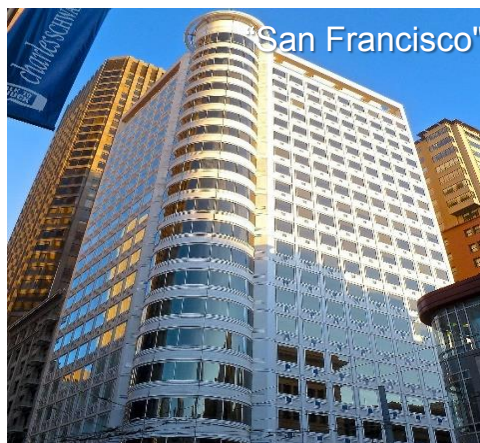
2,568回

※2019年9月末時点。

- ・会員数…fabbit、COMPASS、及びグループ出資会社を含む
- ・拠点数…設計施工中を含む。グループ出資先のWorkbarを含む
- ・マッチング件数(紹介)…会員同士の紹介件数累計／各種イベントや懇親会などは、1出席者に2人を紹介にて算出
- ・イベント開催(実績)…fabbit、COMPASS、Fukuoka Growth Next及びグループ出資する会社の実績累計／大規模イベントから小規模イベントまで全てを含む

1. Co-working（新しいコンセプト）

グローバルコミュニケーションを推進する“fabbit Global Gateway”
大手町・大阪本町・福岡天神がオープン。サンフランシスコが来年1月オープン



1. Co-working（行政・地方自治体との連携）

官民共働型施設・地方自治体の補助事業



2017年4月～2019年3月

官民共働型施設
「Fukuoka Growth Next」



2017年12月～運営中

東京都多摩ものづくり型創業支援施設整備補助事業
「fabbit 八王子」



2018年6月～運営中

官民共働型施設
「COMPASS小倉」



2019年7月～運営中

イノベーション拠点立地促進補助制度
「fabbit 神戸三宮」



アメリカ合衆国商務省経済開発局・HTDC（ハワイ技術開発公社）補助事業
「fabbit Hawaii」



2019年10月OPEN

1. Co-working（他社比較）

fabbit

スタートアップ・第二創業支援に特化

A社

コワーキング世界最大級

B社

レンタルスモールオフィス世界最大



fabbit社は、政府の提唱する「未来投資戦略2018」の趣旨に賛同し、「スタートアップ企業」や「企業の第二創業」の支援、また大手企業とのビジネスマッチング等を推進する「fabbit」を運営しております。

現在、国内23カ所、海外22カ所、日本最大級のコワーキング施設数^{※1}、約6,000名の会員^{※2}を有し、主要都市及び海外拠点との連携や会員間の情報交流が積極的に行われております。

fabbit 株式会社

代表取締役社長 田中保成

ハーバード大学経営大学院修了(MBA取得)、ボストン・コンサルティング・グループなどを経て、fabbit株式会社 代表取締役社長に就任。
訳書「スタートアップで働くということ～起業家ではなく参加者として会社を立ち上げる～」(HBS上級講師 ジェフリー・バスギャング 書)



※1 コワーキング施設数…設計施工中を含むノグループ出資先のWorkbarを含む

※2 会員数…fabbit、COMPASS、及びグループ出資会社を含む

1. Co-working（特徴）

fabbit が提供する独自の支援プログラム

◆ AIによるビジネスマッチング

（会員情報・会員ニーズをAIで分析し、会員のマッチングを支援）

◆ スタートアップなど企業の成長支援

（資金調達・経営支援・上場支援・会計支援・コスト削減支援・M&A支援・バイアウト支援など）

◆ 勉強会やイベントを通じたリアルな交流支援

（年1,000回を超える勉強会やイベントを通じて会員のリアルマッチングを支援）

◆ クロスボーダー支援

（企業のグローバル展開支援）

◆ コワーキング・レンタルオフィスの提供

1. Co-working (連携実績)

国内外の主なエコシステムプレイヤー等と続々と連携



※上記は、12月5日に東京で開催された「fabbit Conference 全国大会2018」、12月6日に福岡で開催された「Global Innovators in Startup City Fukuoka」の様子

1. Co-working (施設一部紹介)



fabbit
Global Gateway "ACROS Fukuoka"

- 住所 : 福岡県福岡市中央区天神1丁目1-1
(天神地下街直結、天神駅16番徒歩5分)
- 開設 : 2018年12月7日
- 席数 : 固定席 28席(個室12部屋含む)
フリー席 100席/貸会議室あり
- 面積 : 455.34㎡



1. Co-working (施設一部紹介)



fabbit Global Gateway "Otemachi"



fabbit Global Gateway "OsakaHonmachi"



fabbit 青山



fabbit 大手町



fabbit 銀座



fabbit 八王子



fabbit 栄



fabbit 広島駅前



COMPASS 小倉

2. Parking



Parking

2018年9月末

3,028 台



+ 561 台

2019年9月末

3,589 台

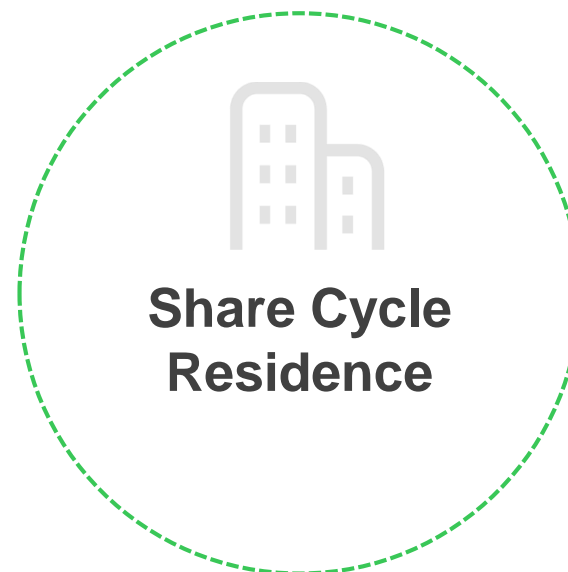
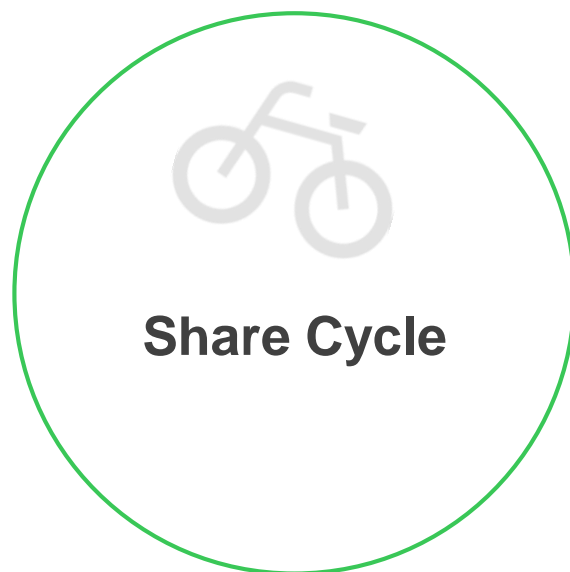
※上記数値は契約ベース

4. Share Cycle

ecobikeは、政府が2017年に施行した「自転車活用推進法」の趣旨に賛同し、シェアリングエコノミーとして利便性の高いサービスを提供することに加え、利用者の移動データを用いたデータマイニングサービスを提供するために設立されました。

現在12の地方自治体と連携し、Share Cycle を提供しております。

今後は、Share Cycle に加え、マンションの住人が自転車を共有する「Share Cycle Residence」を推進します。2019年9月末現在、Share Cycle・Share Cycle Residence・Cycle share space合計905台を運営しております。



4. Share Cycle

主な取り組み

Share Cycle



Share Cycle Residence



協定書締結: 福津市・飯塚市・古賀市・宗像市・那珂川市・台東区・町田市・大和市・千葉市・伊仙町・徳之島町・天城町

※上記数値は契約ベース/写真はイメージ

2. 2019年9月期 連結実績

1. 連結決算主要数値推移（前年同期比）

（単位：百万円）

	18 / 9期	19 / 9期	備考	前年同期比	
				金額	率
売上高	41,682	45,934	Sharing economy、Platform、 Cloud technology主要セグメント増収	+4,251	+10.2%
売上総利益	11,309	11,637	Sharing economy 増益	+328	+2.9%
販管費	9,683	9,582		▲100	▲1.0%
営業利益 (営業利益率)	1,626 (3.9%)	2,055 (4.5%)	Sharing economy 増益	+428	+26.4%
経常利益	881	729	営業利益増加 持分法取込損失 ▲5.7億円 貸倒引当金 ▲2.3億円	▲151	▲17.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲1,073	272	関係会社株式売却益 +20.5億円 事故関連損失 ▲11.5億円 保険収入 +3.1億円	+1,345	—
EBITDA*	2,661	2,471	営業利益増加 持分法取込損失 ▲5.7億円	▲189	▲7.1%

* EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費

2. 連結貸借対照表主要数値（前期末比）

（単位：百万円）

資産の部	18/9期 期末	19/9期 期末	増減	備考
流動資産	14,641	15,197	+556	
現金及び預金	7,773	7,959	+185	
受取手形及び売掛金	1,567	1,669	+101	
営業投資有価証券	1,031	1,105	+74	
その他	4,268	4,463	+195	短期貸付金+745
固定資産	20,904	18,807	▲2,097	
有形固定資産	4,693	4,299	▲393	
無形固定資産	9,207	8,667	▲539	
のれん	7,215	6,741	▲474	
その他 無形固定資産	1,991	1,925	▲65	
投資その他の資産	7,003	5,839	▲1,163	繰延税金資産▲716 関係会社株式▲573
総資産	35,545	34,004	▲1,540	

負債・純資産の部	18/9期 期末	19/9期 期末	増減	備考
流動負債	10,523	10,299	▲224	
買掛金	1,005	909	▲96	
短期借入金*	1,979	2,053	+74	
その他	7,538	7,336	▲202	未払税金▲1,008
固定負債	20,474	18,844	▲1,630	
長期借入金	17,797	16,076	▲1,721	
長期預り敷金・保証金	1,750	1,642	▲108	
その他	926	1,125	+199	
負債合計	30,998	29,143	▲1,854	
資本金	7,983	7,983	—	
純資産	4,546	4,861	+314	
負債・純資産 合計	35,545	34,004	▲1,540	

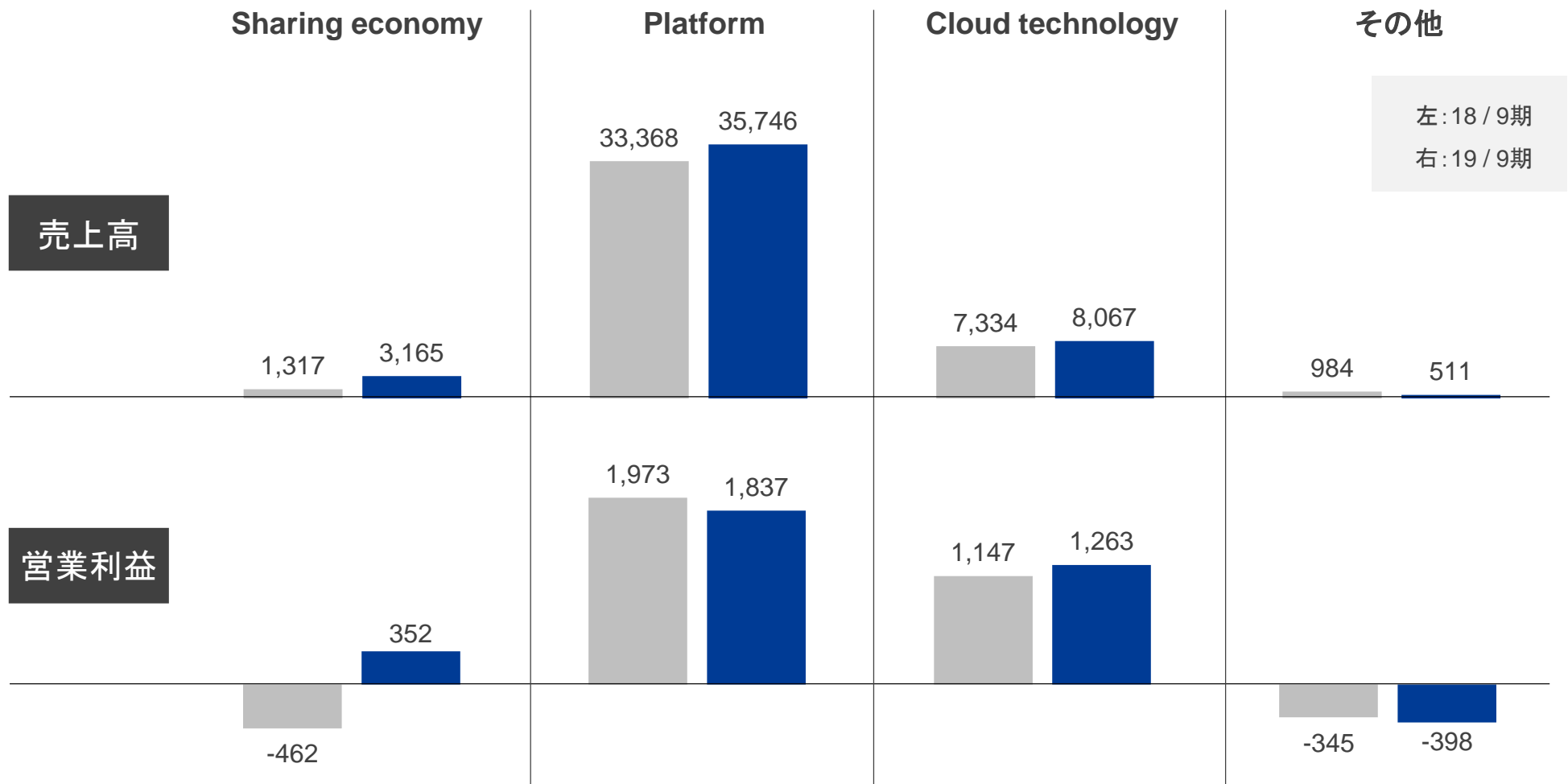
*一年内返済予定の長期借入金を含む

3. 2019年9月期 セグメント実績

1. セグメント別売上高・営業利益（2期比較）

主要3セグメントすべて増収

（単位：百万円）



2. Sharing economy事業（2期比較）

（単位：百万円）

	18/9期	19/9期	前年同期比	
			金額	率
売上高	1,317	3,165	+1,847	+140.2%
営業利益	▲462	352	+814	-

Co-working



拠点数

41カ所 → **45** カ所

Parking



Parking台数

3,028台 → **3,589** 台

Share Cycle



契約台数

841台 → **905** 台

※上記数値は契約ベースです／ecobikeは提携店台数含む

3. Platform事業（2期比較）

（単位：百万円）

	18/9期	19/9期	前年同期比	
			金額	率
売上高	33,368	35,746	+2,377	+7.1%
営業利益	1,973	1,837	▲136	▲6.9%

店舗



FC契約直営店舗数

107店 → **92** 店

PM



管理戸数

90,198戸 → **87,970** 戸

主な付帯・関連サービス

保険	保証	緊急駆付け
電気・ガス	送金・振込	通信
鍵交換	NHK加入取次	CATV加入取次

付帯・関連サービス粗利

1,981百万円 → **1,889** 百万円

※直営店のFC化を段階的に進めています。

4. Cloud technology事業（2期比較）

（単位：百万円）

	18/9期	19/9期	前年同期比	
			金額	率
売上高	7,334	8,067	+733	+10.0%
営業利益	1,147	1,263	+115	+10.1%

Cloud technology 一例

紹介CLOUD

The screenshot displays the APAMAN cloud management interface. It features a top navigation bar with the APAMAN logo and several icons. Below the navigation bar, there are several data panels and charts, including a table with columns for '項目', '18/9', '19/9', and '増減'. A person in a suit is shown in the background, pointing at a screen.

査定CLOUD

The screenshot displays the APAMAN cloud management interface. It features a top navigation bar with the APAMAN logo and several icons. Below the navigation bar, there are several data panels and charts, including a table with columns for '項目', '18/9', '19/9', and '増減'. A calculator and a pie chart are overlaid on the interface.

シェアリングキー

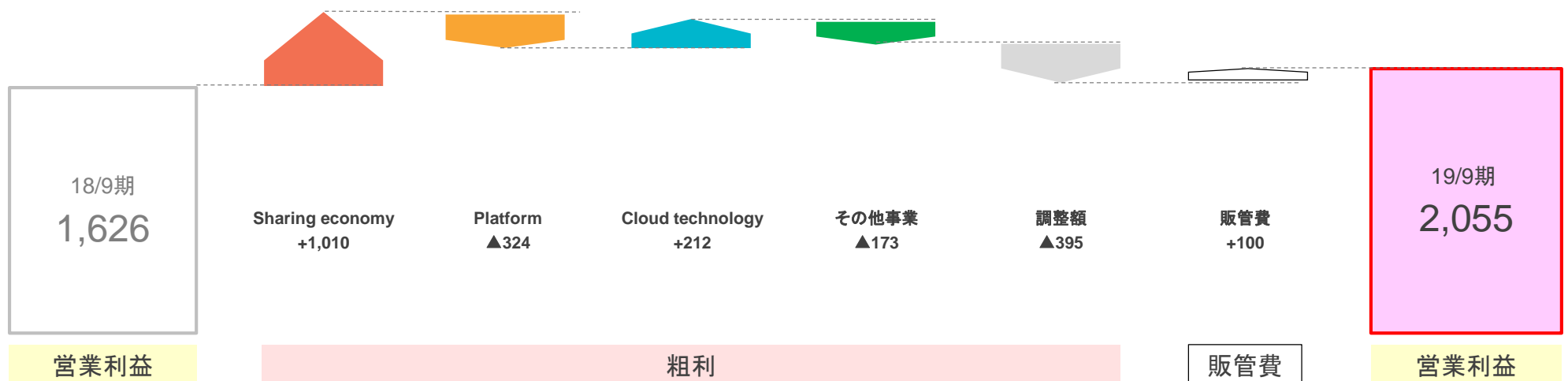
The image shows a white circular sharing key device and a smartphone displaying the 'Locked' status of the key. The key device has a white dial and a small display. The smartphone screen shows the key's status and a 'History' button.

※シェアリングキーは出資企業の商品を取り扱っております。

5. セグメント別営業利益分析（前年同期比）

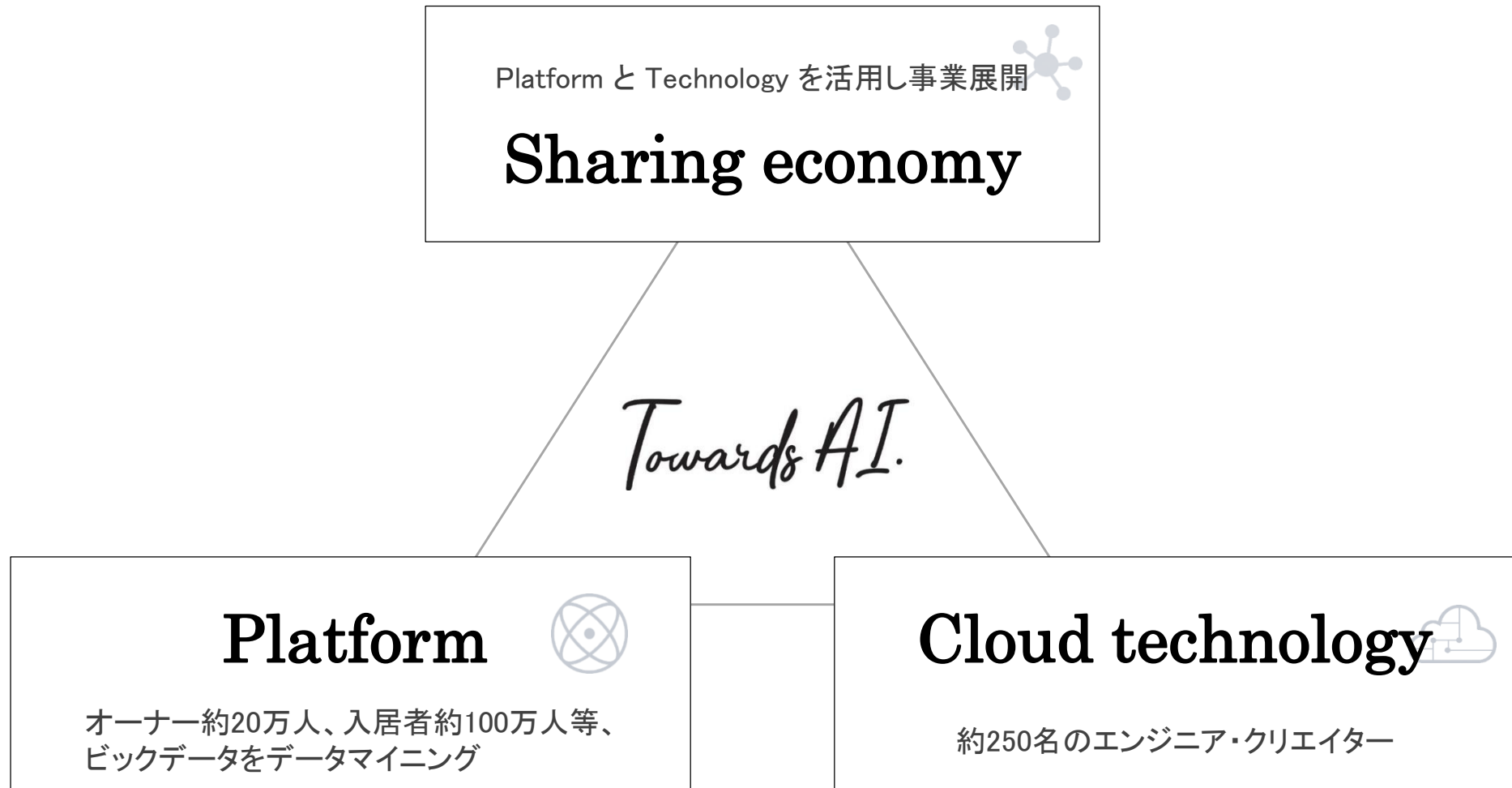
（単位：百万円）

	18/9期			19/9期			前年同期比		
	売上高	売上総利益	率	売上高	売上総利益	率	売上高	売上総利益	率
Sharing economy	1,317	99	7.5%	3,165	1,109	35.1%	+1,847	+1,010	+27.5%
Platform	33,368	9,706	29.1%	35,746	9,382	26.2%	+2,377	▲324	▲2.8%
Cloud technology	7,334	2,072	28.3%	8,067	2,284	28.3%	+733	+212	+0.1%
その他事業	984	305	31.1%	511	131	25.8%	▲472	▲173	▲5.3%
調整額（消去または全社）	▲1,322	▲874	—	▲1,556	▲1,270	—	▲233	▲395	—
合計	41,682	11,309	27.1%	45,934	11,637	25.3%	+4,251	+328	▲1.8%
販管費（販管費率）	9,683		23.2%	9,582		20.9%	▲100		▲2.4%
営業利益（営業利益率）	1,626		3.9%	2,055		4.5%	+428		+0.6%



4. 2020年9月期 連結業績予想

1. APAMANグループの強み



※Platformの数字はFC加盟企業を含む
※Cloud technologyの従業員数はグループの合計人数

2. 連結決算主要数値業績予想（2期比較）

（単位：百万円）

	19 / 9期 実績	20 / 9期 予想	前年同期比	
			金額	率
売上高	45,934	45,000	▲934	▲2.0%
営業利益 (営業利益率)	2,055 (4.5%)	2,000 (4.4%)	▲55 (▲0.1%)	▲2.7%
経常利益	729	1,400	+670	+91.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	272	450	+177	+65.1%

5. 配当方針

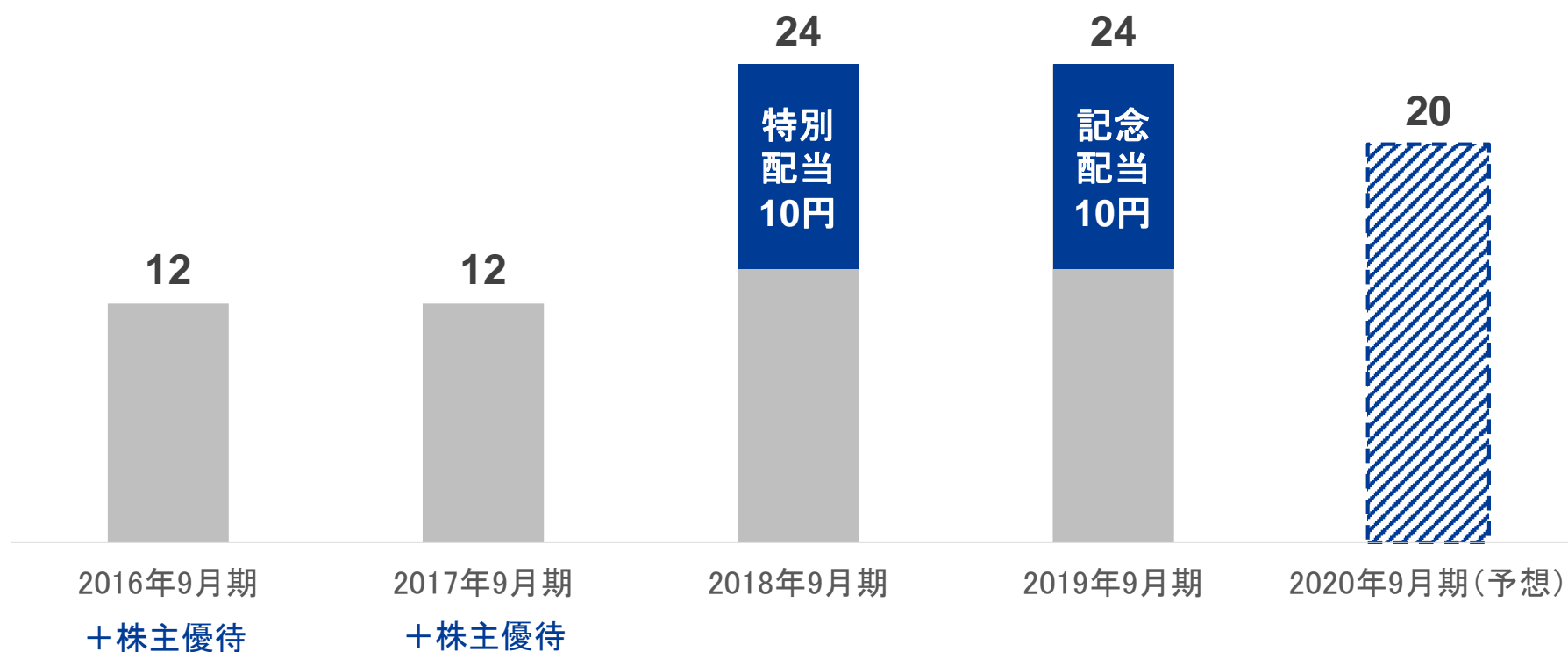
1. 配当方針

株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけており、業績の進展等を勘案しながら利益還元を努めることを基本方針としております。当社は本年10月20日をもちまして、お陰様で20周年を迎えることができました。日ごろのご支援、ご協力に感謝の意を表し、普通配当に加え、1株当たり10円の創立20周年記念配当を行うことといたしました。

また、2020年9月期の予想については、過去2期の特別配当、記念配当の実施及び、キャッシュフローや財務状況等を慎重に協議した結果、1株当たり20円といたしました。

■ 1株あたり配当金推移

単位：円



2. 会社概要

商号	APAMAN株式会社
代表取締役社長	大村 浩次
資本金	79.8億円（2019年9月30日現在）
連結従業員数	1,096名（2019年9月30日現在）
本社所在地	東京都千代田区大手町2-6-1 朝日生命大手町ビル
事業内容	Sharing economy Platform Cloud technology
証券コード	8889 (JASDAQ スタANDARD)



APAMAN

本資料に関する注意事項

本資料の表示数値は金額に関しては切り捨て、パーセンテージ表示については四捨五入等、端数計算により行っているため、算式に基づき算定される数値とその結果として記載される数値は必ずしも一致しない場合があります。本資料に記載されている経営戦略、計画や見通し等は、過去の事実を除いて将来の予測であり、現時点において入手可能な情報や合理的判断の根拠とする一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これらの見通しとは大きく変動する場合があります。本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。

また、掲載内容については、細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の内容が正確であるかどうか、有用であるかどうか、更新時期が適切であるか等について当社は一切保証するものではありません。また、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料は、APAMAN株式会社および当社関係会社の事業の概要へのご理解をいただくために作成されたものであり、投資の勧誘または斡旋を行うものではありません。投資に関するご判断はお客様自身の責任で行われますようお願い申し上げます。

本資料は、現時点での最終数値であり、過去の決算説明資料の数字を保証するものではありません。